

## 第1回京都府子育て支援条例検討委員会の開催結果（概要）

### 1 日時・場所

平成18年9月4日（月） 15：30～17：00

ハートピア京都第5会議室

### 2 出席者

市村委員、岩城委員、岡本委員、川村委員、澤田委員（座長）、下田委員、田井委員、津崎委員、中浦委員、藤本委員、八槇委員、山下委員

### 3 主な意見

- ・子どもの命を守るという視点は大切。子どもの安全についての内容を盛り込んでほしい。少子化対策的な視点が入ってもよいのではないか。
- ・子どもに係る条例といっても、安心・安全、雇用、男女共同参画、青少年といった多くの問題が絡み合っており、施策のレベルで絡むものを取りまとめようとする、焦点がぼやける可能性が高い。何のために条例を作るのかに焦点を絞って、とりまとめるべき。
- ・子育て力は確実に弱まっており、社会全体で子育てを支援する必要はある。しかしながら、それをし過ぎると子育て力はさらに低下することも考えられ、バランスのとり方が難しい。
- ・子育ての当事者である保護者や子ども自身の立場と役割を定めることも必要ではないか。
- ・次世代の親になる人を育てる施策が必要。
- ・家庭でおじいちゃん、おばあちゃんがやっていた子育て支援と同様のサポートを地域のおじいちゃん、おばあちゃんにさせていただくような施策が必要。
- ・高校生と幼児との「ふれあいミルクサロン」を実施し、回を重ねることで親も高校生も子どもがいることがいいなあと感じている。こういう場を設定することが大切。
- ・条例制定後の施策についての評価制度が必要。